



月2回刊=1638号
2023年12月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費を含む

12.8 人事異動要求書提出

早期内示・本人希望尊重を



▲人事異動について早期内示など人事課の見解を質す県職労交渉団

12月8日、2024定期人事異動に関する要求書を内城人事課総括課長に提出し、交渉を行った。交渉では、今年3月8日の春闘期人事課総括課長交渉の時点から早期内示を求め続けてきたことにも触れながら、3月1日内示、異動期間の確保、本人希望の尊重等を要求の柱とした。

①内示時期

3月1日までの内示を要求するとともに、不可能な場合には、内示日から発令日まで最低でも3週間を確保することを要求した。また、3月8日の春闘期の交渉において、異動手続き、給与登録、事務分担当決定等、内示後の業務は多いことから1日でも2日でも早く内示すべきと求めたことにも

②本人希望の尊重

家庭や個々の事情を把握し、本人希望を尊重すること、長距離通勤や長期単身赴任等、多大な負担を生じさせないこと、特に子育て



▲内城人事課総括課長に要求書を提出する小田嶋委員長(右)



▲課題改善に向け交渉に臨む現業評交渉団

現業評

人事課長・各主管室課長交渉

現実な人員確保と賃金改善を

11月24日、現業評議会(工藤明彦議長)は、現業統一闘争として、内城人事課総括課長と交渉を行い、

その後、和田管財課総括課長、白井農林水産企画室管理課長及び大野県土整備企画室管理課長と交渉を行った。



▲職場決議・署名を手渡す工藤現業評議長(右)

③出向・派遣

各種団体、法人等への派遣者から、例えば、夏季休暇や通勤手当が県よりも不利との相談があることか、事前に説明したうえで、本人の意向を確認すべきと要求した。これに対し、「職員の派遣は、本人の希望等を踏まえて選考しているほか、早い段階で本人にお伝えし、公益法人等派遣法等

④技能員の配置

各試験研究機関の技能員は恒常的に不足しており、任期の定めのない常勤職員を基本に増員するよう求めたところ、「常勤職員を基本として適切に対応する」と回答した。

55歳以上の非現業職員を対象に新設された勤勉手当の「勤続加算枠」について、現業職員への対応を質したところ、「基本的に昇給しない57歳以上を対象とすることが考えられるが、対象者の人数が少なく配分が少なくなる課題も考えられる。研究していく」

各試験研究機関の技能員は恒常的に不足しており、任期の定めのない常勤職員を基本に増員するよう求めたところ、「常勤職員を基本として適切に対応する」と回答した。

運転技士の補充の在り方、配置の方向性を質したところ、「全県画一ではなく、個別具体的にその都度検討・決定が必要」と回答した。交渉団から、「新規採用と併せ、1〜2年技術伝承できる体制も考慮すべき」と訴えた。

各主管課に対し、計画的な退職補充と増員を含めた体制強化を求め、見解を確認した。



▲農林水産企画室との交渉に臨む現業交渉団(右)

全面的に反対している。ライドシェアは権利保護が不十分な個人事業主による労働が前提で、利用客の安全確保が担保されないという、職業運転手の低所得化に直結し、タクシードライバーとして成り立たなくなる▼県職労も、全自治体からライドシェア反対署名の要請を受け、署名を取りまとめた。組合員の皆様の協力に感謝申し上げる。

全面的に反対している。ライドシェアは権利保護が不十分な個人事業主による労働が前提で、利用客の安全確保が担保されないという、職業運転手の低所得化に直結し、タクシードライバーとして成り立たなくなる▼県職労も、全自治体からライドシェア反対署名の要請を受け、署名を取りまとめた。組合員の皆様の協力に感謝申し上げる。

! 年末・年始の事故等には十分お気をつけください!
寒さが厳しい冬期の外出では、路面凍結などもあり車の運転には十分に気をつけなければなりません。
また、年末年始の休暇は帰省・旅行・レジャーなど出かける機会が増えたり、雪道に慣れていない県外からの車両が多くなったりと、いつも以上に注意が必要です。

万が一の事故の際は自治労マイカー共済の緊急連絡先へ
※マイカー共済事故受付センター※
フリーダイヤル 0120-0889-24
※自治労マイカー共済ロードサービス※
フリーダイヤル 0120-89-376

第五世代
英国・ロンドンのタクシードライバーは、かつては黒色塗装の車両のみを使用していたため「ブラックキャブ」と呼ばれる。今は黒色以外の車両や、ラッピング広告が施された車両もある。運転者は、試験合格者に限られる▼英国では、配車アプリを利用した一般ドライバーによる配車サービスも行われている。しかし、観光客向けのウェブサイトに「短距離のみ、比較的安心な日中の利用に留めることをおすすめ」と記載されるなど、安全面の不安は否めない▼日本でも政府が、普通免許しか持たない一般ドライバーが自家用車に有料で客を乗せる「ライドシェア」の導入に向けた調整を進めているが、タクシードライバーの労働組合である全自交(全国自動車交通労働組合連合会)は全面的に反対している。ライドシェアは権利保護が不十分な個人事業主による労働が前提で、利用客の安全確保が担保されないという、職業運転手の低所得化に直結し、タクシードライバーとして成り立たなくなる▼県職労も、全自治体からライドシェア反対署名の要請を受け、署名を取りまとめた。組合員の皆様の協力に感謝申し上げる。

花巻支部 独自要求・交渉

古くてもエレベーターは必要 設置を求め継続要求

児童支援のため近隣に駐車場確保を

12月5日、花巻支部は独自要求書を花巻総務センター 石木田所長に提出し、交



▲庁舎環境等の改善を求め交渉する交渉団 (左)

渉を行った。冒頭、樋澤支部長から「職場の組合員らの要求を取りまとめたものであり是非改善願いたい」と要求書を手交した。



▲要求書を手渡す樋澤花巻支部長 (右)

交渉では、花巻地区合同

現業評

現業の和を 若手職員学習交流会を開催

11月11日、県職労現業評議会(工藤明彦議長)は、岩手県民会館会議室にて若手職員学習交流会を開催した。採用10年以内の職員を対象とし、対象者17人に対

庁舎にエレベーターがなく、障がいのある来庁者が無理して階段を上っていること、県税室などの窓口でもフォロワーがいること、荷物の搬入で危険が伴っているなどの実態を伝え、エレベーター設置を強く要求。庁舎の冷暖房運転について、災害対応時や時差勤務の時間帯にも柔軟な稼働を求めた。

さらに、保育園等に預けるなど育児中の職員のため合庁近隣に職員駐車場を確保するよう要求した。現在、職員公舎へのエアコン設置はない。今年8月の大雨では、災害警報が連日発せられるなど対応に追われ、深夜に帰宅しても高温多湿のため睡眠が確保できないことから住環境

の改善のためエアコン設置は必須と訴えた。また、災害警戒本部総務班対応にかかる旅費・超過勤務手当等は、所属予算任せにせず総務センターが必要額を取りまとめ要求・配分するよう求めた。さらに、本局、北上合庁や遠野合庁間の書類搬送便を廃止しないよう強く求めた。



▲現業評議会で開催された学習交流会のようす

一般職と現業職との違いや、行革合理化計画による採用人数の抑制(特に03年(08年)など)を中心に講義が行われた。参加者からの質問では「これまで労働協約はあるか?」などが聞かれた。その後、意見交換(フリートーク)として、各職場での問題点や職場ごとの違いなど、各職場の現

状を発表した。現業評議会として初めての試みとして開催した今回の学習交流会は、同じ職種、年代の仲間が顔見知りになり、気軽に相談出来る関係性の構築を目的として開催した。今後も開催する時期、時間等も検討し、さらなる活動につなげたい。

県庁支部 会計年度任用職員「労働条件学習会」開催

一緒に働く会計年度職員も年内差額支給!

年内差額支給!

12月1日、県庁支部は、会計年度任用職員へ「差額



▲県庁支部で行われた労働条件学習会のようす

支給)など、交渉結果を説明する学習会を開催し、45人が参加した。

はじめに県庁支部佐々木琢磨支部長(医療政策室分會)が「ガンリンや食料品等の物価が上がり、一緒に働いている皆さんの生活も大変だと思ふ。県職労は交渉によりベースアップをさせ、会計年度任用職員の皆さんも差額支給となる。組合に加入し一緒に働く職場の労働条件改善を」とあいさつ。

続いて県職労特別中央執行委員、野中やすし盛岡市議から4年前の会計年度任用職員制度導入の経過に触れ、「組合は4年前から一時金の勤勉手当の導入を要求し、今年度の交渉で導入の道筋ができた。勤勉手当の導入は組合で交渉を続けてきたから実現できており、ぜひ組合加入を」と呼びかけた。

また、高谷琢人県職労中央執行委員(管財課分會)より「月額報酬(週30時間)の方で1級25号の給料表の場合、差額支給の金額は一時金を含め約10万円。年内の支給となる」と具体的な

額を示しわかりやすく説明した。最後に支部小原大書記長(農村建設課分會)より「休

暇など権利の使い方を学習する機会が必要」と、今後の参加を呼びかけ、締めくくった。

健康管理の取組の 中間報告

11月24日、2023年度第2回職員安全管理委員会が書面開催され、2023年度の健康管理の取組について、事務局の総務事務センターから中間報告を受けた。

精神疾患による療養状況について、10月末時点の療

養実人員は2022年の72人に対し、2023年は68人と、全体としては減少傾向にある。しかしながら、29歳以下に限定すると、2022年の27人に対し、2023年は30人と、増加傾向に歯止めがかかっていない。



11.1 内丸緑地での確定闘争アピール行動



9.8 胆江支部スポーツ交流会



5.13 盛岡支部いちご祭り交流会



11.10 確定闘争県職労総務部長交渉



10.2 宮古支部うみねご交流会



6.8 平和の火リレー知事要請



11.25 花巻支部秋の交流会



10.14 気仙支部ボウリング大会



8.14 野中市議2期目当選



5.1 岩手県中央メーデー

写真で振り返る 2023年